

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対して

このたびのロシアとウクライナの戦闘によって亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

大本本部・人類愛善会は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は極めて遺憾であり、現在、戦闘状態が継続されていることに深い憂慮の念を表明します。

大本教祖出口王仁三郎（人類愛善会初代総裁）は「本当の世界平和は、全世界の軍備が撤廃したときにはじめて実現される」と述べています。いかなる理由があるにせよ、尊い命が武力的行為によって失われることがあってはなりません。

私たちは、「人類は本来兄弟同胞であり、一心同体である」との理念にもとづき、人種、国家、宗教等あらゆる障壁を超越して、世界の人々がお互いに尊び、慈しみ、睦みあい、地球上のあらゆる生命の調和のとれた愛善世界（世界恒久平和）の実現を期するものです。

真の世界平和実現には、国を超えて話し合う、新しい世界秩序にもとづく世界連邦の枠組みが求められます。

私たちは、これ以上世界が敵愾心に満ちた対立や争いの方向にむかわないよう、話し合いによる解決が行われますように、平和を希求する世界の人たちとともに祈願を行っています。

戦争と暴力を否定し、公正な国際社会を構築することを願ってやみません。

令和4（2022）年3月4日

大本本部長・人類愛善会会長

小林龍雄